



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 親松 和史 TEL 011-633-1030
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	70,501	3.7	520	△10.0	751	△8.2	517	4.1
2024年3月期第1四半期	68,005	6.2	577	1.6	818	0.8	497	△40.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 535百万円 (△65.4%) 2024年3月期第1四半期 1,550百万円 (71.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.08	—
2024年3月期第1四半期	22.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	149,007	61,004	40.9	2,834.88
2024年3月期	147,300	60,684	41.2	2,819.99

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 60,989百万円 2024年3月期 60,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	140,000	3.0	1,150	0.7	1,500	5.5	860	17.7	39.97
通期	281,000	2.0	2,840	0.5	3,440	△2.7	2,200	1.1	102.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	24,400,000株	2024年3月期	24,400,000株
2025年3月期1Q	2,885,976株	2024年3月期	2,885,976株
2025年3月期1Q	21,514,024株	2024年3月期1Q	21,968,138株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や雇用環境等の改善により緩やかな回復の動きがみられる中、長期化する地政学的な対立リスク等による経済への影響など引き続き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、事業間連携により地域の実状に沿った社会保障基盤の構築に向けグループをあげて付加価値を創造し、「より健やかな地域社会へ」の実現を目指して取り組みを推進しております。

5月に稼働した当社初となるグループを横断する4つの事業拠点が統合された空知事業所においては、GDPガイドラインに準拠した施設において効率化と物流の高度化を通じたワンストップで利便性の高いサービス提供が可能となりました。

また、医療機器卸売事業の竹山では、災害時や物流問題の解決を見据えた新たな取り組みとして「ドローンプロジェクト」を発足し、6月には室蘭市において伊藤忠商事株式会社、一般社団法人ドローン大学校と共同で医療機器輸送に関する最新型のドローンを用いた実証実験を実施いたしました。今後とも、地域固有ニーズに対応した活動であるエリアサミット等を活用し事業を通じた社会課題の解決に向けた取り組みをグループ全社で推進いたします。

なお、2月に受けたランサムウェア被害に関して、外部専門機関による調査によりデータ漏洩等の痕跡が確認されていないこと等の調査結果を5月に公表いたしました。再発防止に向けて外部専門機関の意見を踏まえた最新の取り組みを継続しております。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は705億1百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は5億20百万円（同10.0%減）、経常利益は7億51百万円（同8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億17百万円（同4.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、4月に薬価改定が実施され、6月には診療報酬改定が行われました。後発医薬品における供給面での混乱は未だに継続している状況です。また、長期取藏品の売上が減少する傾向も依然として続いています。このような厳しい環境ではありますが、抗がん剤などの新薬の販売に積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年同期を上回ることができました。また、利益は、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組んでいる結果、売上増加の影響もあり増益となりました。

その結果、売上高は515億72百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は5億13百万円（同24.1%増）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、主要なお得意先における大型医療機器の更新（手術用ロボット、放射線科機器等）が獲得でき、また医療材料では手術や検査などが増加したため売上は前年同期を上回りました。一方、利益は商品仕入価格の上昇や販売コストの増加等の影響により、減益となりました。

その結果、売上高は171億79百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は1億54百万円（同40.6%減）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、売上では薬価の引き下げが4月、調剤報酬の改定が6月と例年に比べて変則的となっておりましたが、処方箋単価は前年と同水準となった一方、前年度に3店舗が閉じたことや、医療機関の閉院等も重なり処方箋枚数は前年同期比で5.2%減少となりました。利益は、医療用医薬品の価格交渉の影響もあり前年同期に引き続き営業損失となりました。

その結果、売上高は31億61百万円（前年同期比4.8%減）、営業損失は68百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売の強化および住宅改修と介護ロボットの普及推進のための営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針によりご利用者様獲得の機会が増えたこと等により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅では、新規入居者が計画通りに推移した一方で入院される方や退居の増加があり、売上は前年水準にとどまりました。

その結果、売上高は10億41百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は36百万円（同41.5%増）となりました。

(ICT事業)

ICT事業におきましては、ICT機器等の投資案件を堅調に受注し、売上は前年同期並みの水準を維持しました。一方、営業利益につきましては、2月に発生したランサムウェア攻撃からの復旧作業による事業機会の喪失や、利益率の高い開発案件の売上計上時期のずれ込みなどにより、大きく減少しました。

その結果、売上高は4億12百万円（前年同期比0.1%増）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益18百万円）となりました。

(その他事業)

その他事業（子会社の経営指導・保険代理店・SPD・新規開業支援等）におきましては、売上高は10億35百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は6億71百万円（同3.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,490億7百万円（前連結会計年度末は1,473億円）となり、17億7百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が8億93百万円、受取手形及び売掛金が15億40百万円、建物及び構築物で10億70百万円増加した一方、商品及び製品が6億26百万円、建設仮勘定が6億50百万円減少したことによるものです。

負債は880億3百万円（前連結会計年度末は866億16百万円）となり、13億86百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が14億67百万円、賞与引当金が5億74百万円増加した一方、未払法人税等が3億47百万円、役員賞与引当金が1億3百万円、繰延税金負債で2億34百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、610億4百万円（前連結会計年度末は606億84百万円）となり、3億20百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が3億2百万円増加したことによるものです。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億93百万円増加し、217億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億36百万円（前年同期比62.7%減）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益7億43百万円（同9.0%減）、減価償却費2億55百万円（同0.4%増）、棚卸資産の減少6億18百万円（同36.8%減）、仕入債務の増加14億67百万円（同62.3%減）、賞与引当金の増加5億74百万円（同7.7%増）、未収入金の減少7億97百万円（同120.0%増）などがありましたが、減少要素として売上債権の増加15億28百万円（前年同期比19.1%減）、役員賞与引当金の減少1億3百万円（同4.9%減）、法人税等の支払額8億31百万円（同27.5%増）があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億44百万円（前年同期比56.6%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億33百万円（同54.8%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億98百万円（前年同期比18.6%減）となりました。これは主に配当金の支払1億76百万円（同20.8%減）およびリース債務の返済21百万円（同4.4%増）があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,813	21,706
受取手形及び売掛金	57,409	58,950
商品及び製品	17,824	17,197
仕掛品	11	19
その他	8,084	7,468
貸倒引当金	△29	△31
流動資産合計	104,114	105,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,437	10,508
土地	11,626	11,611
建設仮勘定	711	61
その他(純額)	728	790
有形固定資産合計	22,504	22,971
無形固定資産		
のれん	851	824
ソフトウェア	451	415
その他	359	373
無形固定資産合計	1,662	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	17,720	17,778
長期売掛金	73	76
長期貸付金	229	208
繰延税金資産	322	371
その他	758	756
貸倒引当金	△85	△79
投資その他の資産合計	19,019	19,111
固定資産合計	43,186	43,696
資産合計	147,300	149,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,015	76,878
電子記録債務	2,488	3,093
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	876	529
賞与引当金	974	1,548
役員賞与引当金	134	30
その他	2,699	2,744
流動負債合計	83,191	84,827
固定負債		
長期借入金	13	12
繰延税金負債	2,184	1,949
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	94	95
長期未払金	437	418
資産除去債務	340	341
その他	233	236
固定負債合計	3,424	3,175
負債合計	86,616	88,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	42,970	43,273
自己株式	△2,029	△2,029
株主資本合計	53,763	54,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,556	7,573
土地再評価差額金	△711	△711
退職給付に係る調整累計額	61	61
その他の包括利益累計額合計	6,906	6,923
非支配株主持分	14	15
純資産合計	60,684	61,004
負債純資産合計	147,300	149,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	68,005	70,501
売上原価	62,944	65,355
売上総利益	5,060	5,145
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	288	290
給料及び手当	1,961	2,022
賞与引当金繰入額	465	508
役員賞与引当金繰入額	28	30
退職給付費用	98	84
法定福利費	374	396
賃借料	72	72
その他	1,192	1,221
販売費及び一般管理費合計	4,483	4,625
営業利益	577	520
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	142	154
不動産賃貸料	35	33
持分法による投資利益	35	30
貸倒引当金戻入額	0	3
その他	70	53
営業外収益合計	285	276
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	29	25
遊休資産諸費用	6	11
その他	9	8
営業外費用合計	44	45
経常利益	818	751
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益	817	743
法人税、住民税及び事業税	527	512
法人税等調整額	△207	△287
法人税等合計	319	224
四半期純利益	497	518
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	497	517

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	497	518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,047	17
退職給付に係る調整額	4	0
その他の包括利益合計	1,052	17
四半期包括利益	1,550	535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,549	535
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817	743
減価償却費	255	255
のれん償却額	28	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△3
受取利息及び受取配当金	△143	△155
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△35	△30
固定資産売却損益(△は益)	—	0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,888	△1,528
棚卸資産の増減額(△は増加)	978	618
仕入債務の増減額(△は減少)	3,888	1,467
未払消費税等の増減額(△は減少)	344	△14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	533	574
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△109	△103
未収入金の増減額(△は増加)	362	797
預り金の増減額(△は減少)	195	△28
その他	194	△113
小計	5,429	2,508
利息及び配当金の受取額	147	159
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△652	△831
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,924	1,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,623	△733
有形固定資産の売却による収入	—	15
無形固定資産の取得による支出	△28	△20
投資有価証券の取得による支出	△65	△6
貸付金の回収による収入	4	4
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,714	△744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△222	△176
リース債務の返済による支出	△20	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244	△198
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,965	893
現金及び現金同等物の期首残高	18,022	20,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,988	21,706

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	47,882	15,659	3,319	1,002	124	16	68,005
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,352	143	2	1	287	1,042	3,830
計	50,235	15,803	3,321	1,003	412	1,059	71,835
セグメント利益又は損失 (△)	413	261	△21	25	18	692	1,390

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,390
セグメント間取引消去	△753
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△35
四半期連結損益計算書の営業利益	577

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	49,342	16,797	3,158	1,040	143	18	70,501
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,229	381	3	0	269	1,016	3,901
計	51,572	17,179	3,161	1,041	412	1,035	74,402
セグメント利益又は損失(△)	513	154	△68	36	△4	671	1,302

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,302
セグメント間取引消去	△727
のれんの償却額	△21
棚卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	520

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。